

省エネでコスト削減！ 28年6月号

旬な情報をお届けするニュースレター

サンエイ eco × eco
ecology × economy



株式会社 サンエイテクノクス

TEL 052-741-2603
FAX 052-733-9515

〒464-0851 名古屋市中種区今池南13番15号 <http://www.sanei-info.co.jp> 担当:長坂

《過去のニュースレターを上記HPでも紹介しています。今すぐ、サンエイテクノクスで検索！！》

～真夏の“デマンド”対策～ “空調の省エネ”特集！

「真夏のデマンド対策！
空調の省エネ事例レポート」
“無料プレゼント！”

毎年この時期になると多い悩み・・・あなたの職場は対策出来ていますか？

「室内が40℃を越えて暑い！」「空調でデマンドが一気に上がる！！」「エアコンが効かない！！！」

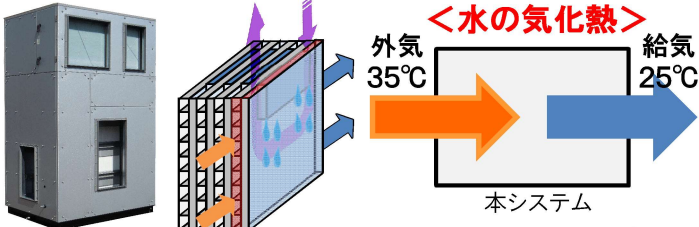
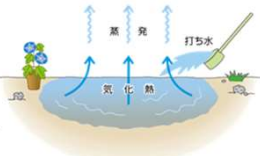
そこで、みなさまのお悩みを解決する

『真夏のデマンド対策！空調の省エネ事例レポート』を作成しました！今回はその一部をご紹介します。



水の気化熱を活用して、25℃の冷風を作り出す気化熱空調システム！

「水が蒸発する時の気化熱」を活用した給気システム。夏場、外気(35℃)を取り込み、水の気化熱を活用して、25℃まで冷やし冷風として屋内へ給気。また、気化用の空気と給気用の空気を別々の層で処理するため、従来のシステムと異なり、湿度が上がることなく、冷風を作り出すことができる。



■某プラスチック成型工場の事例の事例



＜導入前＞

夏場、成型機から発する熱で工場内が40℃近くになっていて、スポットエアコンも効かない状態でした……

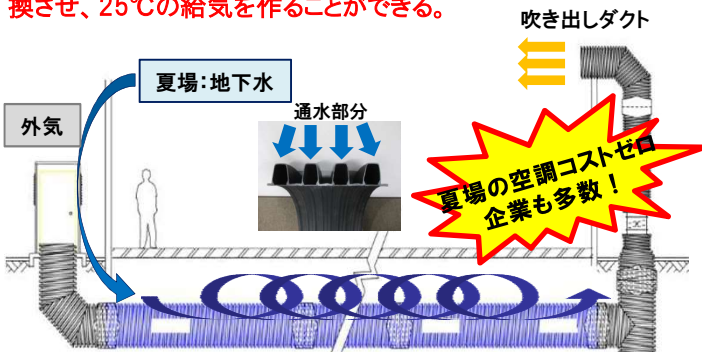


＜導入後＞

気化熱空調システムにより、クリーンな外気25℃を工場内へ！快適な作業環境を実現！従来のエアコンのようにコンプレッサが不要のため大幅な省エネ繋がった！

地下水熱を活用して、25℃の冷風を作り出す地下水空調システム！

外気をポリエチレン管内に取り込み、その管の外周に15℃の地下水を通水。地下水によって取り込んだ外気が冷え、室内へ給気する。夏場の外気温度が35℃の時に地下水15℃と熱交換させ、25℃の給気を作ることができる。



■某大手建設機械メーカーの事例

既存の空調はコストがかかるわりに効率が落ちて、効きが悪く困っていた・・・その為、地下水熱利用給気利用システムを導入！25℃の冷風を大量に取り込むことができ、夏場の暑さ対策ができた。また、空調コストの大幅削減にも成功！



～真夏のデマンド対策！～

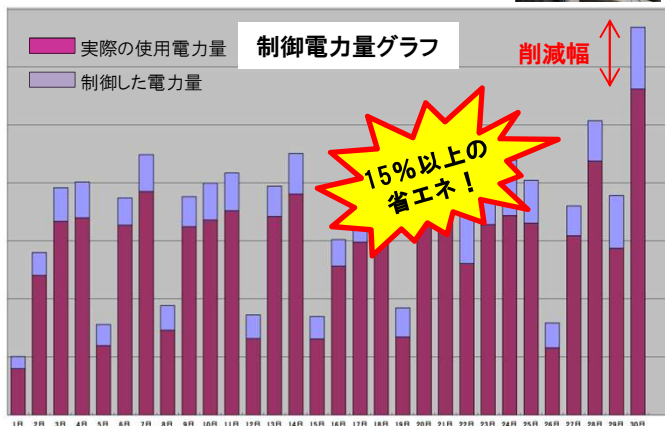
既存設備はそのままで夏前の省エネ対策！

- ☑ エアコンが効かない
- ☑ 室内・工場内が暑い
- ☑ 夏場の空調が原因でデマンドが一気に上がる
- ☑ 外気を取り入れている為、空調負荷が上がる
- ☑ 窓から入ってくる日射の影響で室内が暑い
- ☑ 室内温度にムラがある
- ☑ 既存の空調が更新時期である
- ☑ ノンフロン空調システムに興味がある

上記に1つでも当てはまれば
空調の省エネ事例レポート必見です！！

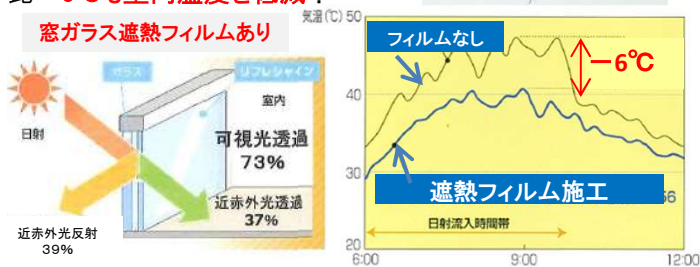
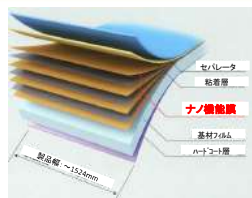
既存の“室外機のコンプレッサーを 間欠運転”させ15%省エネ！

室内温度を監視しながら既存室外機のコンプレッサーを自動制御(間欠運転)するシステム。
20分ごとに3分間コンプレッサーを自動停止させることで空調コストを15%削減！



窓ガラスに“遮熱フィルムを 貼るだけ”で空調を省エネ！

特殊な透明ナノハイブリッド多層膜フィルムを窓に貼り、窓から侵入してくる太陽光の赤外線を反射、輻射熱を抑制。フィルムを貼った部屋の室温は貼っていない部屋の室温に比べ6℃も室内温度を低減！



“空調から離れた場所の暑さを 解消する特殊ファン”で省エネ！

天井に特殊ファンを設置し、天井から床に拡散しにくい直線的な気流を起こさせました。その強制対流によって上下・水平の温度ムラを解消。夏場の空調の設定温度を上げることができ、空調の省エネを実現！



音や風も全く
気になりません！



《事例レポートご希望者記入欄》

※ 6/30 迄にお申込み下さい！！

貴社名		TEL	()
部署名		お名前 (お役職)	

「空調の省エネレポート希望」

事例レポートご希望の方はこのままFAXを！！ FAX : 052-733-9515

編集後記

『知覚行動(ちかくこうどう)』 仏教の言葉で「知って→覚えて→動いて→考える」という意味です。いくら知っても、いくら覚えても、動かなければ結果は変わりません。私も初めての事に取り掛かるときは不安がありますが、やれない・出来ないでは自分の成長はないのでいつも「とにかくやってみる！」を心掛けています。 大林

